

令和 2年度 施策評価シート（令和元年度実績評価）

政策 01 安全・安心に暮らせるまち  
 施策 02 循環型社会の形成  
 主管課： 生活環境課  
 関係課：

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか） 市民，市内事業者	意図（どのような状態にしたいのか） 市内から排出される廃棄物の量が抑制されたまちをつくる。
------------------------------	--

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

常総環境センターへのごみの搬入量（1人1日当たり換算）					(g)	生活環境課
基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度		目標値（R03）	
737.00	721.00	734.00	700.00		667.00	
向上指針	下がると良い	（状況）常総環境センターへのごみの搬入量（1人1日当たり換算）は、平成24年度以降減少傾向でしたが、令和元年度は前年度比13g（1.8%）増加しました。 （原因）搬入量を前年度と月別に比較すると9月（前年比173t増）と3月（前年比180t増）に大きく増加しています。この原因としては9月は、消費税増税に伴う買替等の増加で、3月については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市内の小中学校が3月から休校になり、家庭で過ごす時間が増えたことや、外食を避けてテイクアウトが増えたため増加したものと考えられます。				
対前年度	低下					
目標達成度	低					
次年度課題	課題とする					

基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度		目標値（R03）
0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度		目標値（R03）
0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度
	決算	決算	決算	予算	見込
事業費合計	607,651	599,080	622,883	655,620	655,620
人件費	13,009	14,216	17,343	0	0
トータルコスト	620,660	613,296	640,226	655,620	655,620

4 基本事業の状況

基本事業名称	成果指標の動向					事業費				
						H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度
01 ごみの減量化	低下	低下				4,753	4,353	3,956	5,141	5,141
02 再資源化への取組	横ば	低下				0	0	0	0	0
03 廃棄物の適正処理	低下	低下				602,499	594,338	618,409	649,999	649,999
99 施策の総合推進						399	389	518	480	480

5 施策全体の取組状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

<p>ごみの減量や再資源化といった5種16分別による排出がもたらす効果について、転入者等へリーフレット配布し、分別の徹底を促しました。</p> <p>事業者に対しては、古紙類の再資源化等による効果（コスト削減等）を周知できる資料を、年1回実施している環境保全に関する事業所アンケートを行う際に同封して、周知を図りました。</p>	推進状況	一部停滞あり
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持

当該年度の全庁決定の方向性（前年度の全庁政策会議での決定事項）

<p>ごみの再資源化を推進するため、5種16分別によるごみ出しの周知・啓発を図ります。</p> <p>事業者に対して、古紙類の再資源化によるコスト削減効果の周知・啓発を図ります。</p> <p>不法投棄監視員や地域住民の協力を求め、監視の目を強化することで、不法投棄の抑止を図り、ごみのないまちを目指します。</p>	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持

次年度の方向性

<p>ごみの再資源化を推進するため、5種16分別によるごみ出しの周知・啓発を図ります。</p> <p>事業者に対して、古紙類の再資源化によるコスト削減効果の周知・啓発を図ります。</p> <p>不法投棄監視員や地域住民の協力を求め、監視の目を強化することで、不法投棄の抑止を図り、ごみのないまちを目指します。</p>	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持